

★今シーズンのインフルエンザについて★

季節性インフルエンザのウイルスには、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型、2系統のB型の4つの種類があります。流行しやすい年齢層は、ウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、すべての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等の影響で、A(H1N1)亜型やA(H3N2)亜型の交代の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられます。

インフルエンザは、冬の南半球で流行したウイルスが、東南アジアなどを経由し、日本の冬に流行します。そのため日本に流行予測には、南半球のインフルエンザの感染状況が参考になります。オーストラリアでは、2022年2023年ともに1年中どの月もインフルエンザの感染がみられ、終息する月がありません。

2023年9月現在、日本で流行しているのはインフルエンザA型(H3N2)です。オーストラリアで今年の夏に流行ったのはインフルエンザA型(H1N1)です。この後、ほかの異なる型のインフルエンザが流行る可能性があります。

「今年、すでにインフルエンザに感染したから大丈夫！もう感染しない」と油断禁物です。

インフルエンザの予防接種を受けましょう。

★インフルエンザを予防する有効な方法★

① 流行前のワクチン接種が有効です

ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、入院の危険が約1/3から1/2にまで減少することが期待できるとされています。現行ワクチンの安全性はきわめて高いと評価されています。

② 手洗いやアルコール製剤による手指衛生も有効です

手洗いで付着したウイルスを洗い落とすことや、アルコール製剤による手指の消毒もインフルエンザウイルスに対して有効です。



③ 感染を広げないために“咳エチケット”を心がけてください

インフルエンザは、主に、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴(飛沫)によって感染します(飛沫感染)。普段から“咳エチケット”(①他の人に向けて咳やくしゃみをしない、②咳やくしゃみが出るときはマスクをする、③手のひらで咳やくしゃみを受け止めたら手を洗うことなど)を心がけてください。



医療機関名

詳細については、
お住まいの市区町村に
お問い合わせください。